

地域医療再生計画(泉州医療圏)(堺市・南河内医療圏)進捗について (計画期間:平成22年度～25年度(一部26年度))

泉州医療圏 計画規模25億円(基金活用額)

《概要》医師数や病院数をはじめとした医療提供体制が府内でも脆弱な「泉州医療圏」において、将来にわたり住民に安心の医療を提供していくことをめざし、公立病院の機能再編や救急医療体制の充実などに取り組む。

※【 】は、基金充当額の見込

事業	平成22年度から平成25年度までの事業実績概要	平成26年度の事業予定
◆泉州南部で実施する公立病院再編 (市立貝塚病院・りんくう総合医療センター・阪南市民病院・泉州救命救急センター) : 病院の機能再編・連携により医師の働きやすい(集まりやすい)環境を構築	・事業推進基本構想に基づく取り組みを推進 各病院の機能強化に向けた施設・設備の整備 診療情報連携システムの構築 関係大学における寄附講座の開設(大阪大・近大) 病院間共同で取り組む医師研修プログラムの検討 院内保育所の整備・運営 など 【2,138,059千円】	《計画期間延長》 ・事業推進基本構想に基づく取り組みを推進 各病院の機能強化に向けた施設・設備の整備 (市立貝塚病院緩和ケア病棟) 【45,040千円】
◆泉州北部で実施する公立病院の連携強化 (泉大津市立病院・和泉市立病院) : 両病院の機能分担の中で開設された周産期センターの医師確保支援	・関係大学における寄附講座を運営 大阪市大:産婦人科、関西医大:新生児科 【120,000千円】	・関係大学における寄附講座運営を継続 (再生計画(平成24年度補正予算)において平成27年度まで実施) ⇒資料3-③『寄附講座設置事業』参照
◆泉州全域で実施する二次救急医療体制の連携強化 : 重症救急患者の当番制による受入体制を構築	・重症救急患者受入体制の強化に向けた取り組みを実施 当番制受入体制の充実・強化 【152,015千円】	—
◆府全域で実施する医師確保策の充実 : 奨学金制度の活用や就業環境改善による医師確保	・医学部地域枠入学定員増(大阪市大・近大)への奨学金制度 【50,400千円】 ・短時間正規雇用支援事業の実施 【10,089千円】	・医学部地域枠入学定員増への奨学金制度を継続 (再生計画(平成24年度補正予算)において平成27年度まで実施) ⇒資料3-③『地域医療確保修学資金等貸与事業』参照
22～25年度事業額 計2,470,563千円		26年度事業予算額 計45,040千円

堺市・南河内医療圏 計画規模25億円(基金活用額)

《概要》救急・周産期医療体制に課題がある「堺市医療圏」と、救急医療体制において堺市医療圏と密接な関係性を有する「南河内医療圏」で、救命救急センターの整備等による救急医療体制の強化や小児・周産期医療体制の充実に取り組む。

【堺市医療圏】

事業	平成22年度から平成25年度までの事業実績概要	平成26年度の事業予定
◆救急医療体制の整備・強化 : 市立堺病院に救命救急センターを整備 二次救急医療体制の連携強化	・市立堺病院の救命救急センター整備 堺市医療圏及びその周辺の救急医療の核機能を果たすための救命救急センターの設備整備 【504,122千円】 ・新病院での救急管制塔機能の確立に向けた体制を確保 救急専門医と救急隊とのホットラインの確保 救急搬送データの蓄積・分析 【44,386千円】 ・二次救急医療体制の連携強化に向けた取組及び関係機関の調整を実施 救急搬送の受け入れが困難な疾患について当番制受入体制を構築 受入体制への事業費補助を実施 【175,708千円】	《計画期間延長》 ・市立堺病院の救命救急センター整備 堺市医療圏及びその周辺の救急医療の核機能を果たすための救命救急センターの施設整備 【666,729千円】
◆小児・周産期医療体制の整備・強化 : 24時間対応可能な小児初期救急医療体制を整備 府立母子保健総合医療Cの小児重症患者の受け入れ体制を強化 ベルランド総合病院・市立堺病院の周産期医療機能を充実	・小児初期救急医療体制の検討 24時間対応可能な体制構築に向け関係機関と調整を実施 【422千円】 ・小児重症患者への対応強化 府立母子保健総合医療センターの手術室等の施設整備 【430,000千円】 ・周産期医療体制の整備・強化 ベルランド総合病院のNICU・MFICUの設備整備 【163,811千円】	《計画期間延長》 ・小児初期救急医療体制の整備・強化 小児急病診療センターの整備 【170,000千円】 《計画期間延長》 ・周産期医療体制の整備・強化 ベルランド総合病院のNICU・MFICUの施設、設備整備 【156,189千円】

【南河内医療圏】

事業	22年度から25年度までの事業実績概要	26年度の事業予定
◆二次救急医療体制の連携強化 : 重症救急患者の当番制受入体制を構築	・二次救急医療体制の連携強化に向けた取組を実施 当番制受入体制を充実・強化 【199,829千円】	—
22～25年度事業額 計1,518,278千円		26年度事業予算額 計992,918千円